

# 地方創生に向けた 「道の駅」シンポジウム

「道の駅」は平成5年の制度創設以来、四半世紀が経過し、全国で1,173駅が設置され、年間2億人以上の方々に利用されるなど、地方創生を具現化するための手段としてその重要性が高まっています。

今回のシンポジウムでは、地方創生に向けた「道の駅」について考えるため、「みち」を舞台に、地域住民、NPO、行政などが力を合わせて、景観、自然、歴史、文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」や「活力ある地域づくり」に取り組む「日本風景街道」との連携や、優れた「道の駅」の事例などをご紹介します。

開催日時

令和2年5月22日(金)

15:00～17:30(開場14:30)

場所

松江テルサ テルサホール

〒690-0003 島根県松江市朝日町478-18

☎0852-31-5550

※本シンポジウムは、新型コロナウイルス感染の状況によっては中止させて頂く場合があります。  
中止の場合は、松江国道事務所ホームページ(<https://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>)にて、お知らせします。



## プログラム

参加費無料 | 定員400名

14:30～ 受付・開場

15:00～15:10 開会あいさつ 島根県「道の駅」連絡会会長(飯南町長)

15:10～16:10 基調講演

「道の駅 第3ステージ～地域と道路の新たな連携～」

石田 東生氏(筑波大学名誉教授・日本大学特任教授)

- 未来投資会議 次世代モビリティ・次世代インフラ 産管協議会 アドバイザー
- 国土交通省 社会資本整備審議会 道路分科会 会長
- 国土交通省 新「道の駅」有識者懇談会座長

専門研究分野は、「交通計画」や「インフラ政策策定」「政策策定とモニタリングのための移動調査」等多岐に渡ります。

現在は、(一財)日本みち研究所理事長として、「道の駅」の多様なニーズや質的向上、既存施設のリニューアル等の調査・研究を行い地方創生に尽力されています。



16:10～17:20 事例紹介

16:10～16:40 ○「道の駅」事例紹介

「東南アジアで進化する道の駅」

加藤 文男氏(枇杷倶楽部初代駅長・株式会社南房総代表取締役副社長・地域活性化伝道師)

16:40～17:10 ○日本風景街道事例紹介

「日本風景街道と道の駅の連携によって広がる可能性

～夢に向かってワクワクする人と地域～」

谷越 衣久子氏(日南海岸きらめきライン事務局)



17:10～17:20 ○講評

石田 東生氏



17:20～17:30 閉会あいさつ 国土交通省中国地方整備局 松江国道事務所長

| 主催 | 島根県「道の駅」連絡会 | 共催 | 国土交通省中国地方整備局松江国道事務所、島根県

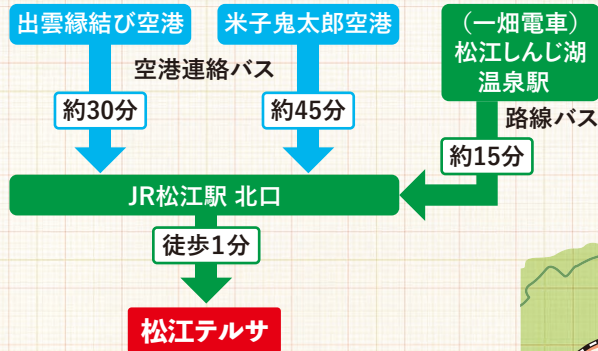
| 協力 | 中国「道の駅」連絡会、中国地方風景街道協議会

## 会場へのアクセス

### 松江テルサ テルサホール

〒690-0003 島根県松江市朝日町478-18  
☎0852-31-5550

#### ▼飛行機・鉄道利用の場合



#### ▼車・タクシー利用の場合

- ・山陰道 松江中央ICより約10分
- ・出雲縁結び空港より約30分
- ・米子鬼太郎空港より約45分

## 申込方法

参加ご希望の方は、下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。

※メールでお申し込みの場合は、下記の参加申込書の太枠内の項目をメール本文に漏れなくご記入ください。

※受付完了後、事務局からご連絡のメールをお送りいたしますので、メールアドレスは必ずご記入ください。

**申込締切 5月8日(金)**

**送信先**

FAX/ **0852-22-9731**

E-mail/ **info-matsukoku@cgr.mlit.go.jp**

※申し込み順のため、締切前でもご希望に沿えない場合があります。

#### ▼参加申込書 ※参加者名は参加を希望される方のお名前を全て(1行につき1人)ご記入下さい。

自治体・機関名	ふりがな	連絡担当者氏名	ふりがな
住所	〒	TEL	
E-mail		FAX	
No.	参加者名	自治体・機関名	所属・職名
1	ふりがな		
2	ふりがな		
3	ふりがな		
4	ふりがな		